

令和4年度専攻医勤務先調査結果(令和4年8月現在)について

資料 7

表1 専攻医(専門医)人数
各基幹施設の各年度の専攻医採用数及び現員数を記載

区分	二次医療圏	基幹施設	R4採用専攻医		R3採用専攻医		R2採用専攻医		H31採用専攻医		H30採用専攻医													
			採用者数 うち修学生	現員数 うち修学生	採用者数 うち修学生	現員数 うち修学生	採用者数 うち修学生	現員数 うち修学生	採用者数 うち修学生	現員数 うち修学生	採用者数 うち修学生	現員数 うち修学生												
1	医師多数区域	水戸	水戸協同病院	3	3	5	2	5	2	7	7	4	1	8										
2			水戸済生会総合病院	1	1	3	2	3	2	1	1	1	1		1	1	1							
3			水戸医療センター	2	2	2	2	1		1		2	2	2	2									
4			県立中央病院	4	1	4	1	3		3				1	1	2	2							
5			県立こども病院	3		3		3	1	2	1	4	1	4	1	4	4							
6			県立こころの医療センター					1				3	3	2	2	2	1							
7			つくば	筑波記念病院	4	4	3	1	3	1	2		1	1	1	1								
8				筑波大学附属病院	103	25	103	25	109	20	105	20	106	22	101	22	109	13	108	13	99	16	48	10
9				筑波メディカルセンター病院	2		2						1		1						2		2	
10	中間	土浦	土浦協同病院	4	1	4	1	9	1	9	1	1	1	10	9	3								
11	医師少数区域	取手・竜ヶ崎	東京医大茨城医療センター	6	1	6	1	3	1	3	1	4	2	4	2	2	1	2	1	3		3		
12			JAとりで総合医療センター	2		2		3		3		2		2		2		2		3		3		
13		日立	日立総合病院	2	1	2	1	3	1	3	1	1		1	1	1	1	1	1		1			
14		常陸太田・ひたちなか	ひたちなか総合病院	1	1	1	1	2	2	2	2	1		1		3		2						
15			栗田病院	1		1		1		1		1		1		1		1						
計			138	32	138	32	149	31	143	31	136	28	130	28	140	15	133	15	130	18	66	12		

※現員数は、採用者数からプログラム中断者や退職者を除いた人数。

※H30、H31採用専攻医の現員数については、専門研修終了により本調査回答がなかった基幹施設があるため把握できた人数を記載。

表2 令和4年度 勤務先医療機関(予定)
各年度の専攻医(専門医)が、令和4年度中に勤務する予定の医療圏を記載

	水戸		日立		常陸太田・ひたちなか		鹿行		土浦		つくば		取手・竜ヶ崎		筑西・下妻		古河・坂東		その他		合計(延べ人数)	
	勤務人数	うち修学生	勤務人数	うち修学生	勤務人数	うち修学生	勤務人数	うち修学生	勤務人数	うち修学生	勤務人数	うち修学生	勤務人数	うち修学生	勤務人数	うち修学生	勤務人数	うち修学生	勤務人数	うち修学生	勤務人数	うち修学生
R4採用専攻医(138人)	31	(11)	12	(3)	9	(2)	1	(0)	7	(1)	97	(17)	10	(2)	2	(0)	3	(1)	9	(1)	181	(38)
	17.1%	28.9%	6.6%	7.9%	5.0%	5.3%	0.6%	0.0%	3.9%	2.6%	53.6%	44.7%	5.5%	5.3%	1.1%	0.0%	1.7%	2.6%	5.0%	2.6%	100.0%	100.0%
R3採用専攻医(143人)	52	(16)	20	(7)	12	(5)	0	(0)	18	(1)	66	(13)	11	(1)	3	(0)	7	(3)	17	(2)	206	(48)
	25.2%	33.3%	9.7%	14.6%	5.8%	10.4%	0.0%	0.0%	8.7%	2.1%	32.0%	27.1%	5.3%	2.1%	1.5%	0.0%	3.4%	6.3%	8.3%	4.2%	100.0%	100.0%
R2採用専攻医(130人)	50	(17)	11	(2)	10	(3)	2	(1)	7	(1)	58	(10)	11	(3)	1	(0)	9	(1)	23	(1)	182	(39)
	27.5%	43.6%	6.0%	5.1%	5.5%	7.7%	1.1%	2.6%	3.8%	2.6%	31.9%	25.6%	6.0%	7.7%	0.5%	0.0%	4.9%	2.6%	12.6%	2.6%	100.0%	100.0%
H31採用専攻医(133人)	30	(5)	7	(1)	7	(1)	1	(0)	10	(0)	66	(5)	16	(5)	2	(0)	6	(0)	17	(1)	162	(18)
	18.5%	27.8%	4.3%	5.6%	4.3%	5.6%	0.6%	0.0%	6.2%	0.0%	40.7%	27.8%	9.9%	27.8%	1.2%	0.0%	3.7%	0.0%	10.5%	5.6%	100.0%	100.0%
H30採用専攻医(66人)	9	(5)	6	(2)	3	(0)	1	(1)	0	(0)	31	(4)	7	(0)	0	(0)	1	(1)	16	(1)	74	(14)
	12.2%	35.7%	8.1%	14.3%	4.1%	0.0%	1.4%	7.1%	0.0%	0.0%	41.9%	28.6%	9.5%	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%	7.1%	21.6%	7.1%	100.0%	100.0%

※ 水戸医療圏は医師多数区域であるが、現在勤務している修学生医師(令和元年度以前入学者)は、医師不足地域として義務履行期間に算入することとしている。令和2年度入学者からは、臨床研修開始時の医師少数区域を医師不足地域として適用。

※ 勤務人数は、年度内に複数箇所勤務する者がいるため、延べ人数としている。

※ その他は、大学院や県外医療機関勤務等を計上。

<傾向>表1

- ・修学生医師の人数は着実に増加している。
- ・専攻医の大多数は筑波大学附属病院に採用(所属)されている。

<傾向>表2

- ・基幹施設や連携施設など研修施設が多いつくば医療圏や水戸医療圏に多く勤務している。
- ・専門研修が終了する時期のH30採用者やH31採用者についても、引き続きつくば医療圏や水戸医療圏に勤務する割合が高く、医師少数区域への勤務は進んでいない。

※令和2年度入学の修学生(現3年生)からは、臨床研修開始時点の医師少数区域を医師不足地域として取り扱うこととしており、医師多数区域である水戸医療圏は医師不足地域外となる見込み。ただし、現在勤務中の修学生医師(令和元年度以前入学者)は、水戸医療圏も医師不足地域として義務履行期間に算入することとしている。